

経営工学部会 平成21年 8月度研修会議事録

経営工学部会

部会長 毛利悦造

幹事 河内、末浪

日時 平成21年 8月 8日 1時00分より5時まで

場所 (社)日本技術士会 近畿支部 会議室

出席者 (敬称略) (*印は体験的出席者)

毛利悦造、新庄秀光、前川武彦、岡田礼二郎、池田洋二、中西正士、坂井剛太郎、杉山典之、花田憲三、栗山仙之助、杉村光二、大坂吉文(*)、徳永浩二(*)、高倉欣三(*)、南方英則(*)、河内弘茂、末浪 憲一 (以上17名)

1, 毛利部会長挨拶

暑い中多数 参加して頂き感激しています。経営工学部会が活性化して皆様のお役に立つ存在になり得るのも部会全員の方々の熱意があればこそと思い、更に努力して参りたく一層のご協力をお願いします。研修会議事録は、近畿支部「ホームページ」と「きんきしぶだより」に掲載していますので、ご覧下さい。本日はコンサルタント歴の長い新庄技術士のご講演に期待しています。

2, 体験的参加者の自己紹介

大坂吉文[経営工学 住友マネジメント(株)]

徳永浩二[経営工学 三菱製紙(株)]

高倉欣三[経営工学 古野電気(株)]

南方英則[衛生・総技 住友金属工業(株)]

体験後、各先生の希望で、経営工学部会入会を出席者全員で承認した。

3, 研修会

講師：新庄 秀光 技術士(機械部門)

テーマ：中小企業の経営システム活性化の条件は何か。

－事例研究による話題提供、「経営改革テキスト」新庄秀光著－

(1) 経営支援業務理念

支援依頼は社長からであるが、経営層と管理層に受け入れられる助言、その要は「能力開発」。問題点やリスクの存在を気づかせ改善の必要性を感じ自主的に実施させる。

(2) 中小企業の特性

経営者は命がけで事業を行っている。この事を従業員に理解させること。

(3) 経営方針と事業計画の展開

経営理念・経営方針・事業計画を明確にすること、ここから全てが始まる。混同しない。

積極的に問題解決に向かわせる姿勢、現場巡視し再発防止の確認、人材育成面から個人レベル差に応じて従業員に接すること。個の尊重はレベル差に応じて実施。成果主

義人事考課は要領の良い従業員を増やす。経営方針に沿った能力開発を重視

(4) 経営方針に関連した損失の発生状況

講演会等で情報量が多すぎて、経営方針で目標が多くなりすぎる傾向がある。力点が分散し効率が悪くなるから、集中的に課題に取り組めるような経営システムを創り上げること。

「受注品の技術領域拡大、売上高確保→技術蓄積・業績安定化」は好ましいことだが、集中力が発揮できないで惰性に流れ、採算性悪化・衰退の可能性があるため、これを防ぐために、代表者の強い信念が必要。

(5) 経営方針と開発課題着想の関係

開発の着想は、自社内の必要性が一番、次は取引先からの相談による開発であるが契約時に他社への販売も可能にしておくこと。代表者の着想は、趣味の世界に入る可能性があり注意。

(6) 経営方針設定の手順

製品ごとに数年にわたる限界利益率の推移で判断すること。採算性の悪い商品を見切るルール作り。多様な問題を取捨選択できる判断基準を作ること。

(7) 経営方針と生産技術の相互関係と対策

生産技術：QCDに関して日常発生している問題の再発防止の生産技術確立が重要。

多品種少量生産でも、類似工程が少なくない。段取り時間の無駄を省くこと。

設計技術：経営方針の方向性を意識し、蓄積している要素技術を取り出せる仕組み作り。

技術資料の蓄積、再利用を図ることは、品質の安定化とコストダウンの視点からも必要。

限界利益率の推移から、事業行動を正しく判断できる能力開発が必要。

(8) 事業計画に関する問題

売上高、利益目標、コストダウン、品質目標など、具体的な行動計画と目標を明確にする。

(9) 経営方針と市場開拓

経営者(代表者)自ら営業活動すること。ここから、顧客の要求に適合した事業計画作成と実施が可能になる。

(10) 目標管理と能力開発の関係

経営方針が明確になっていると、社外研修等の努力目標が明確になり、従業員の能力開発の展望が可能になる。目標を達成するために、項目と目標値を数値で示すこと。

計画を立案実施するとき、PDCAの段階があるが、Pの段階が重要である。

(11) 情報の停滞は機会損失を増幅

情報が的確に伝達されないと、機会損失が発生する。情報伝達を行うのに「挨拶、感謝、なぜの心」が、人として欠かせない。

会議で人は育つ。会議の運営では、会議資料を前もって配布するなど、司会者の司会技術に左右される面が大きい。会議運営ではテーマから外れる場合がしばしばある。

(12) 考課制度と能力開発

人材育成を目的とする場合と、業績評価に主体を置く場合があるが、前者を目的にして目標管理と連動させた方が、経営システム活性化上好ましい。評価者の満足で終わらせないで、従業員の向上心に結びつけることが大切である。

「所感」行間あるいは、活字の間に講師の長年中小企業支援から得られた、貴重な経験の数々が埋め込まれている。この事を生の声で聞かせて戴き、理解度を一層深めることができた。経営理念、経営方針、事業計画と関連づけて、上記項目の詳細を説明して戴いた。この内容は、企業支援だけでなく、企業内技術士にとっても有益なものと考えられる。この観点で、講師著「中小メーカーのための経営改革テキスト」楽書館を再読して戴きたい。このテキストの理解度が高くなる。

4. 活動報告

- (1) 府立高専「企業経営」（近畿支部で受託 平成21年度前期15コマ担当）
経営工学部会：5コマ担当(池田、有吉、間島、岩井、9月30日:花田で終了)
10コマは他の工学部会が担当
講義録出版の計画がある。
- (2) JST 査読委員 (河内、間島、末浪が応募)
- (3) 近畿支部業務研修コース
- (4) 日本技術士会総会の報告
- (5) 近畿支部役員会

5. 連絡事項

- (1) 経営工学部会行事予定
 - ・9月11日、技術士業務研究会と合同見学会：ABC朝日放送（参加者募集終了）
 - ・10月度研修会 10月10日実施、テーマ：「金融工学と金融問題」、担当：末浪
 - ・12月度研修会 12月12日(予備日19日) テーマ：未定、担当：服部
 - ・22年2月度研修会 2月13日予定
- (2) 近畿支部関係
 - ・サイエンスカフェ；協力して頂ける先生は、近畿支部まで申し込んで下さい。
 - ・CPD中央講座：10月10日、詳細は近畿支部ホームページを参照
 - ・21年度技術士一次筆記試験(10月12日)、技術士二次試験8月1日/2日実施
 - ・第36回技術士全国大会：10月15~16日、於仙台
 - ・2009日中科学技術交流大阪シンポジウム：テーマ「環境保護先進未来都市に向けて」
11月5~6日於大阪南港 ATC O's 棟南館 6F

6. その他

- ・経営工学に関係のある無償ソフトウェアの紹介
統計計算パッケージ R：<http://cran.md.tsukuba.ac.jp/bin/windows/base/>
ガントチャート：gunsuke.com
XEAD JAVA ジード：[sunmicro](http://sunmicro.com)